



InterScan Messaging Security Virtual Appliance™ 9.1 Patch 3

アップグレードガイド



Messaging Security

※注意事項

複数年契約について

- お客様が複数年契約（複数年分のサポート費用前払い）された場合でも、各製品のサポート期間については、当該契約期間によらず、製品ごとに設定されたサポート提供期間が適用されます。
- 複数年契約は、当該契約期間中の製品のサポート提供を保証するものではなく、また製品のサポート提供期間が終了した場合のバージョンアップを保証するものではありませんのでご注意ください。
- 各製品のサポート提供期間は以下のWebサイトからご確認いただけます。
<https://success.trendmicro.com/jp/solution/000207383>

著作権について

本ドキュメントに関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本ドキュメントまたはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本ドキュメントの記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本ドキュメントおよびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

商標について

TRENDMICRO、TREND MICRO、ウイルスバスター、InterScan、INTERSCAN VIRUSWALL、InterScanWebManager、InterScan Web Security Suite、PortalProtect、Trend Micro Control Manager、Trend Micro MobileSecurity、VSAPI、Trend Park、Trend Labs、Network VirusWall Enforcer、Trend Micro USB Security、InterScan Web Security Virtual Appliance、InterScan Messaging Security Virtual Appliance、Trend Micro Reliable Security License、TRSL、Trend Micro Smart Protection Network、SPN、SMARTSCAN、Trend Micro Kids Safety、Trend Micro Web Security、Trend Micro Portable Security、Trend Micro Standard Web Security、Trend Micro Hosted Email Security、Trend Micro Deep Security、ウイルスバスタークラウド、スマートスキヤン、Trend Micro Enterprise Security for Gateways、Enterprise Security for Gateways、Smart Protection Server、Deep Security、ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス、SafeSync、Trend Micro NAS Security、Trend Micro Data Loss Prevention、Trend Micro オンラインスキヤン、Trend Micro Deep Security Anti Virus for VDI、Trend Micro Deep Security Virtual Patch、SECURE CLOUD、Trend Micro VDIオプション、おまかせ不正請求クリーンナップサービス、Deep Discovery、TCSE、おまかせインストール・バージョンアップ、Trend Micro Safe Lock、Deep Discovery Inspector、Trend Micro Mobile App Reputation、Jewelry Box、InterScan Messaging Security Suite Plus、おもいでバックアップサービス、おまかせ！スマホ探しサポート、保険&デジタルライフサポート、おまかせ！迷惑ソフトクリーンナップサービス、InterScan Web Security as a Service、Client/Server Suite Premium、Cloud Edge、Trend Micro Remote Manager、Threat Defense Expert、Next Generation Threat Defense、Trend Micro Smart Home Network、Retro Scan、is702、デジタルライフサポート プレミアム、Airサポート、Connected Threat Defense、ライトクリーナー、Trend Micro Policy Manager、フォルダシルド、トレンドマイクロ認定プロフェッショナルトレーニング、Trend Micro Certified Professional、TMCP、XGen、InterScan Messaging Security、InterScan Web Security、Trend Micro Policy-based Security Orchestration、Writing Style DNA、Securing Your Connected World、Apex One、Apex Central、MSPL、TMOL、TSSL、ZERO DAY INITIATIVE、Edge Fire、Smart Check、Trend Micro XDR、Trend Micro Managed XDR、OT Defense Console、Edge IPS、Trend Micro Cloud One、スマスキヤ、Cloud One、Cloud One - Workload Security、Cloud One - Conformity、およびウイルスバスター チェック！は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本ドキュメントに記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2021 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

P/N: MSE99308/210802_JP (2021/09)

プライバシーと個人データの収集に関する規定

トレンドマイクロ製品の一部の機能は、お客様の製品の利用状況や検出にかかる情報を収集してトレンドマイクロに送信します。この情報は一定の管轄区域内および特定の法令等において個人データとみなされることがあります。トレンドマイクロによるこのデータの収集を停止するには、お客様が関連機能を無効にする必要があります。

InterScan Messaging Security Virtual Appliance により収集されるデータの種類と各機能によるデータの収集を無効にする手順については、次の Web サイトを参照してください。

<https://www.go-tm.jp/data-collection-disclosure>

重要： データ収集の無効化やデータの削除により、製品、サービス、または機能の利用に影響が発生する場合があります。InterScan Messaging Security Virtual Appliance における無効化の影響をご確認の上、無効化はお客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

トレンドマイクロは、次の Web サイトに規定されたトレンドマイクロのプライバシーポリシー (Global Privacy Notice) に従って、お客様のデータを取り扱います。

https://www.trendmicro.com/ja_jp/about/legal/privacy-policy-product.html

目次

第 1 章 : IMSVA の CentOS 6 から CentOS 7 へのアップグレード

IMSVA をバックアップする	6
単一の IMSVA をアップグレードする	6
アップグレードをロールバックする	8

第 1 章

IMSVA の CentOS 6 から CentOS 7 へのアップグレード



重要

このアップグレードプロセスは、InterScan Messaging Security Virtual Appliance 9.1 Patch 3 Critical Patch (ビルト 2074) 以降 (以下、IMSVA) にのみ適用されます。アップグレードする前に、必要な Patch と HotFix がインストールされていることを確認してください。

IMSVA では、標準の CentOS Linux OS を使用する自己完結型のインストールを実行できます。ここで説明する方法を使用して、IMSVA の自己完結型インストールの OS を CentOS 6 から CentOS 7 に直接アップグレードします。

このアップグレードガイドは、すでにインストールしている CentOS 6 ベースの IMSVA を CentOS 7 にアップグレードしたいユーザを対象としています。可能な場合は、CentOS 7 ベースの IMSVA を直接インストールすることをお勧めします。

IMSVA をバックアップする

OS をアップグレードする前に、IMSVA をバックアップすることをお勧めします。

手順

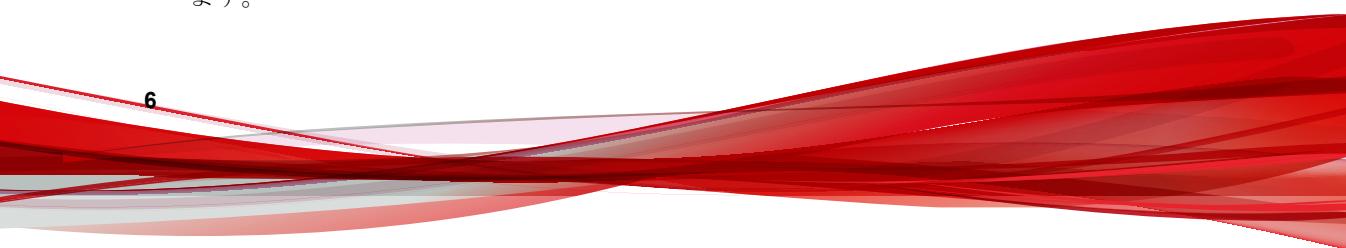
1. 次のいずれかのタスクを実行して、IMSVA をバックアップします。
 - IMSVA がインストールされているコンピュータ全体をゴースト化します。
 - 仮想マシンに IMSVA がインストールされている場合はスナップショットを取ります。
 - IMSVA の app_data パーティションをバックアップします。
 - a. OS のシェルコンソールを開いて、次のコマンドを実行します。

```
/opt/trend/imss/script/imssctl.sh stop  
service crond stop
```
 - b. 外部ディスクを /var/udisk にマウントします。
 - c. すべてのファイルをディスクにコピーします。

```
cp -rf --preserve /var/app_data/* /var/udisk/  
app_data_backup/
```
 2. バックアップ後、すべての IMSVA サービスを起動します。
-

単一の IMSVA をアップグレードする

この手順では、単一の IMSVA を CentOS 6 から CentOS 7 にアップグレードします。





重要

このアップグレードプロセスは、IMSVA 9.1 Patch 3 Critical Patch (ビルド 2074) 以降にのみ適用されます。

IMSVA が上位/下位の形態で配置されている場合は、すべての IMSVA デバイスにアップグレード手順を実行する必要があります。デバイスは 1 つずつアップグレードしてください。特定の順序はありません。

手順

1. IMSVA 9.1 Patch 3 をバックアップします。



注意

詳細については、[6 ページの「IMSVA をバックアップする」](#)を参照してください。

2. アップグレードパッケージの `Upgrade-IMSVA-9.1-2076.tar.gz` を、IMSVA デバイスの `/var/app_data` にアップロードします。
3. SSH 接続を通して IMSVA デバイスに接続します。
4. `/var/app_data` に移動して、アップロードパッケージを解凍します。

```
cd /var/app_data
```

```
tar -zxvf Upgrade-IMSVA-9.1-2076.tar.gz
```

5. アップグレードスクリプトを実行します。

```
/var/app_data/Upgrade/upgrade.sh
```

アップグレードプロセスが完了するまで約 30 分かかります。正確なアップグレード時間はデバイスのパフォーマンスに応じて異なります。

新しい OS が `/dev/mapper/IMSVA-Root1` パーティションにインストールされます。

新しい OS がインストールされると IMSVA デバイスが自動的に再起動され、再起動後、自己完結型インストールの OS が CentOS 7 になります。



注意

アップグレードプロセスが完了するまで、IMSVA は再起動しないでください。

アップグレード時、IMSVA の設定は保持されますが、ホスト名、root アカウント、ネットワーク、およびゲートウェイの設定を除くカスタマイズされた OS の設定は移行されません。元のカスタマイズ設定を保持するには、次の手順を実行します。

- a. 元のルートパーティションを、アップグレードしたサーバのパスにマウントします。たとえば、/root/original_root の場合は次のように指定します。

```
mount /dev/mapper/IMSVA-Root2 /root/original_root
```

- b. マウントされたパスで元の設定を見つけます。
 - c. 元の設定をサーバに追加します。
-

アップグレードをロールバックする

アップグレード後に重大な問題が発生した場合は、次のコマンドを実行して、OS を CentOS 6 にロールバックできます。

```
/var/app_data/Upgrade/rollback.sh
```